

男性のための参画プロジェクト

～男性にとっての男女共同参画を考える～

キーワード：啓発用DVDの作成

「女性団体」、「男性の育児支援の団体等」、「企業」、「行政」による協働

活動の内容：多様な主体の「協働」により、幅広い視点で男性にアプローチ

男女共同参画が男性にとっても重要であることを広く理解してもらうために、平成23年度に「女性団体」、「男性の育児支援の団体等」、「企業」、「行政」が会議体を構成して協働し、多様な視点・発想を取り入れながら事業を実施しました。

【事業の実施内容】

(1)イクメンスクール連続講座の開催（全3回：平成23年11月～12月）

イクメンの「心」、「技」、「体」を学ぶ講座を実施しました。

〔第1回〕「心」～パパスイッチオン～

ワーク・ライフ・バランスを学び、パパを楽しめる極意を伝授する。

〔第2回〕「体」～パパと子どもだけでお出かけ～

電車に乗ってお出かけ、火おこし体験、焼き芋作り等の父子で楽しむ体験を行う。

〔第3回〕「技」～絵本であそぼ～

パパならではの絵本の選び方から読み方まで、一緒に楽しみながら学ぶ。

・運営：ファザーリング・ジャパン東海、協力：なごや子連れ狼の会

(2) 実践事例の掘り起こし等（掲載事例数：39 事例）

固定的性別役割分担意識の解消、男性の家庭生活や地域生活への参画を目指した取り組みなど、地域の様々な実践事例の掘り起こし等を行い、結果を冊子にまとめました。

〔事例〕仕事中心だった男性の、生活自立のための学習をはじめとし、生き生きと自信を持って地域社会に参画できる仲間作りを応援する講座である「メンズカレッジ」や、メンズカレッジ受講生が自主グループとして立ち上げ、地域との交流、健康、料理など、男性が楽しむために活動を行っている「男楽会」などを紹介

(3) アンケートの実施（平成23年11月実施）

企業等の協力を得て、働く男性の現状や考えを調査しました。

・調査対象：企業などで働く男性 ・回答数：672

※アンケート結果は、今回の事業の委託先である地域開発みちの会のWEBサイトよりご覧いただけます。（URL <http://www.aichi.michinokai.cc/forum2012.html>）

(4) フォーラムの開催（平成24年1月29日）

イクメンスクール連続講座、アンケート、実践事例の掘り起こし等の活動の集大成として活動の成果を共有するとともに、広く情報を発信するためフォーラムを実施しました。

テーマ：「これからの男の生き方！イクメン・カジダン・共同メン」

基調講演（講師：佐々木常夫氏 東レ経営研究所特別顧問、内閣府男女共同参画会議議員）

パネルディスカッション等

(5) 啓発用DVDの作成

「男性にとっての男女共同参画」の啓発を図るDVDを作成しました。

・タイトル：これからの男の生き方！イクメン・カジダン・共同メン

・収録時間：25分程度

3部構成：本編（イラストやデータを用いて男女共同参画についてわかりやすく解説）
実践編（男女共同参画を啓発する男性向けフォーラムや体験講座等の事例を紹介）
ダイジェスト編（本編のダイジェスト編）
※DVDの本編は「ネットあいち」の「インターネット情報局」よりご覧いただけます。
（URL <http://www.doga.pref.aichi.jp/ch3/kensei/index.html>）

活動のきっかけや目的 女性のためだけではなく、男性に関心をもってほしい

これまで、「男女共同参画」というと、女性のために女性が活躍するというイメージがあり、いかに男性に関心をもってもらうかが課題でした。

そこで、最近、育児に積極的な男性が「イクメン」、家事を率先して行っている男性が「カジダン」と呼ばれ脚光を浴びるようになってきたこともあり、イクメン・カジダンを切り口に、男性に男女共同参画について考えてもらう事業を、名古屋や知多地域を中心に活動する女性団体である「地域開発みちの会」に委託して実施しました。事業の実施に際しては、女性団体、男性の育児を支援する団体や企業等と会議体を構成して協働し、多様な視点・発想を取り入れながら実施しました。

活動の成果や今後の展開 すそ野の広い活動を目指して

イクメンスクール連続講座では、参加者がイクメンを楽しむためのコツを楽しく学ぶとともに、パパ同士のつながりができ、これを機に地域で父親の子育て支援活動に関心を持つ人も出てきました。また、講演会やパネルディスカッションに夫婦で参加された人たちから、男女共同参画について夫の考えが変わったとの感想も寄せられました。

啓発用DVDは、男女共同参画に馴染みのない男性にも理解してもらえるように、イラストや統計データを使って「男女共同参画はなぜ必要か」などについてわかりやすく解説しており、また、3編構成で、本編のほか、イクメンスクール連続講座やフォーラム等の事例を照会した「実践編」、会議や研修での活用を考慮し“5分でわかる男女共同参画”と題した「本編のダイジェスト編」と、様々な場で用途に応じて活用できる内容としたこともあって、市町村や団体等で活用されています。

今回の事業を通じて、協働して事業を実施した会議体構成員間のネットワークが構築できたので、今後はこのネットワークを活用して男女共同参画の推進に向けた活動をしていきたいと考えています。

ポイント 企業や民間団体と協働し、多様な視点で取り組みを進める

今回の事業実施におけるポイントは、「地域開発みちの会」（女性団体）、「国際交流はなのき会」（女性団体）、「ファザーリング・ジャパン東海」（男性の育児支援団体）、「特定非営利活動法人 BitL」（ワーク・ライフ・バランスを推進する団体）、「河村電器産業株式会社」（企業）及び愛知県の6者が会議体を構成して協働し、多様な視点・発想を取り入れながら実施したことです。

各構成員は、従来からそれぞれの立場で男女共同参画の推進に向けて活動していましたが、「男性にとっての男女共同参画」のテーマのもと、初めて協働して事業を実施することになりました。

実施にあたっては、できるだけ多様な視点・発想を集約できるよう、平成23年9月から平成24年2月の6か月の間に17回もの会議・打合せ等を開催しました。

その他 一緒に事業を進めてみて

協働して事業を実施した会議体構成員からの声を紹介します。

- ・男性対象の調査は当会にとって初めてであったので結果は興味のあるところであった。また、実践事例はまだ少ないので今後、DVDを活用し、地域の草の根での活動に活かしたいと考えている。
- ・会の目的である男女共同参画社会の実現に向けた活動に、DVD、実践事例集、アンケート結果を活用し、構築できた会議体間のネットワークを活かした事業を充実させていきたい。
- ・父親という視点にフォーカスして男女共同参画を進めるといのは比較的どの自治体でもやっていることだが、イクメンブームも相まって一定の効果が得られた。また、様々な団体が集まって会議をすることができた点は、ダイバーシティという観点から評価できる。今後、こうした活動を止めることなく継続して進めていくことが必要だと考える。
- ・父親向けの連続講座では参加者は少人数ながらも、父親同士のネットワーク作りへの手ごたえを実感できた。
- ・活動を通し、社員（特に男性）に男女参画について広く知らせることができた。

啓発用 DVD の盤面



イクメンスクール連続講座風景（第2回）

パパと一緒に火おこし体験を楽しんでいる様子



【愛知県・事業紹介】

名称 男性のための参画プロジェクト～男性にとっての男女共同参画を考える～

事業実施年度 平成23年度

ホームページアドレス <http://www.pref.aichi.jp/danjo/>

連絡先 愛知県県民生活部社会活動推進課男女共同参画室

電話 052-954-6179（ダイヤルイン）

FAX 052-971-8736

メール danjo@pref.aichi.lg.jp

住所 〒460-8501

愛知県名古屋市中区三の丸三丁目1番2号